

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第94回）に係る面談
2. 日時：令和3年9月30日（木）13時15分～15時55分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房

金子緊急事態対策監

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、石井係長、  
久川係員、塩唐松係員

大辻室長補佐（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長、廣岡原子力防災専門官、坂本原子力運転検査官、田中原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室6名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所6名（テレビ会議システムによる出席）

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 担当4名（テレビ会議システムによる出席）

## 5. 要旨

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第94回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- HIC 排気フィルター破損に対する対応について
  - ✓ 令和3年9月27日に実施した面談において、原子力規制庁より回答を求めた、「HIC 排気フィルター破損事案に係る東京電力ホールディングス株式会社に求める対応について」について、現在取りまとめを行っているところであり、本面談ではその進捗状況について報告するもの。
- 廃棄物保管管理の適正化に向けた対策について
- 放射性物質分析・研究施設第1棟の整備状況ならびに分析計画体制整備の状況について
- 福島県沖地震におけるタンク滑動事象を踏まえた追加調査・検討および対策方針

○原子力規制庁は上記内容を確認するとともに、以下のとおりコメントを行った。

【HIC 排気フィルター破損に対する対応について】

- 情報公開に関する整理について、東京電力内で共有される情報のレベル感を分かりやすく記載すること。
- 閉じ込め機能に対する東京電力の認識を明確に示した上で再発防止策等を説明するとともに、今回の事案だけでなくその他の構内設備における閉じ込め機能に係る考え方

についても整理して示すこと。

- 2年前の HIC 排気フィルター破損事案については、水処理設備関係でトラブル等が多く、日々、突発的な業務への対応が求められていたという経緯がある。今後の運用方法を検討していくにあたっては、上記のような状況においても着実に対応ができるような方法を示すこと。

#### 【廃棄物保管管理の適正化に向けた対策について】

- 使用済み高性能 ALPS 前処理フィルターの不適切な保管事案については、ベント管が閉じたまま保管されていたことも問題の一つであったため、今後の保管管理のあるべき姿を検討するにあたっては適切な保管方法に対する考え方についても示すこと。
- 本件は福島第一原子力発電所における物品管理の適正化ではなく、前回検討会で原子力規制庁から提示した廃棄物の保管管理における問題点に対する対策を示すものと認識している。そのため、資料名については改めて検討し直すこと。

#### 【放射性物質分析・研究施設第1棟の整備状況ならびに分析計画体制整備の状況について】

- 固体廃棄物の性状把握について、計画当初の位置付け及び目的を示した上で、放射性物質分析・研究施設第1棟の運用開始遅延により、現在どのような遅れが発生しているかを記載すること。

#### 【福島県沖地震におけるタンク滑動事象を踏まえた追加調査・検討および対策方針】

- 地震計の観測記録について、追加した 33.5m 盤に追加設置した 4 つのほか、原子炉建屋に設置している他の地震計の記録も含めて示すこと。
- ロッキング及びスワールについて注釈等で説明を加えること。
- タンク滑動により連結管破断が発生する前提で検討を進めるとしているが、タンクを保管している堰の高さ等に影響がないか検討すること。

## 6. 資料

- HIC 排気フィルター破損に対する原因分析及び再発防止対策の計画（案）
- 今回の破損に気付いて実践すべきこと（案）
- 情報公開に関する整理（案）
- 物品管理の適正化に向けた対策について（案）
- 放射性物質分析・研究施設第1棟の整備状況ならびに分析計画体制整備の状況について（案）
- 福島県沖地震におけるタンク滑動事象を踏まえた追加調査・検討および対策方針（案）
- 1F 中期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）